

「新香川県立体育館基本設計概要」



1. 新県立体育館の特徴

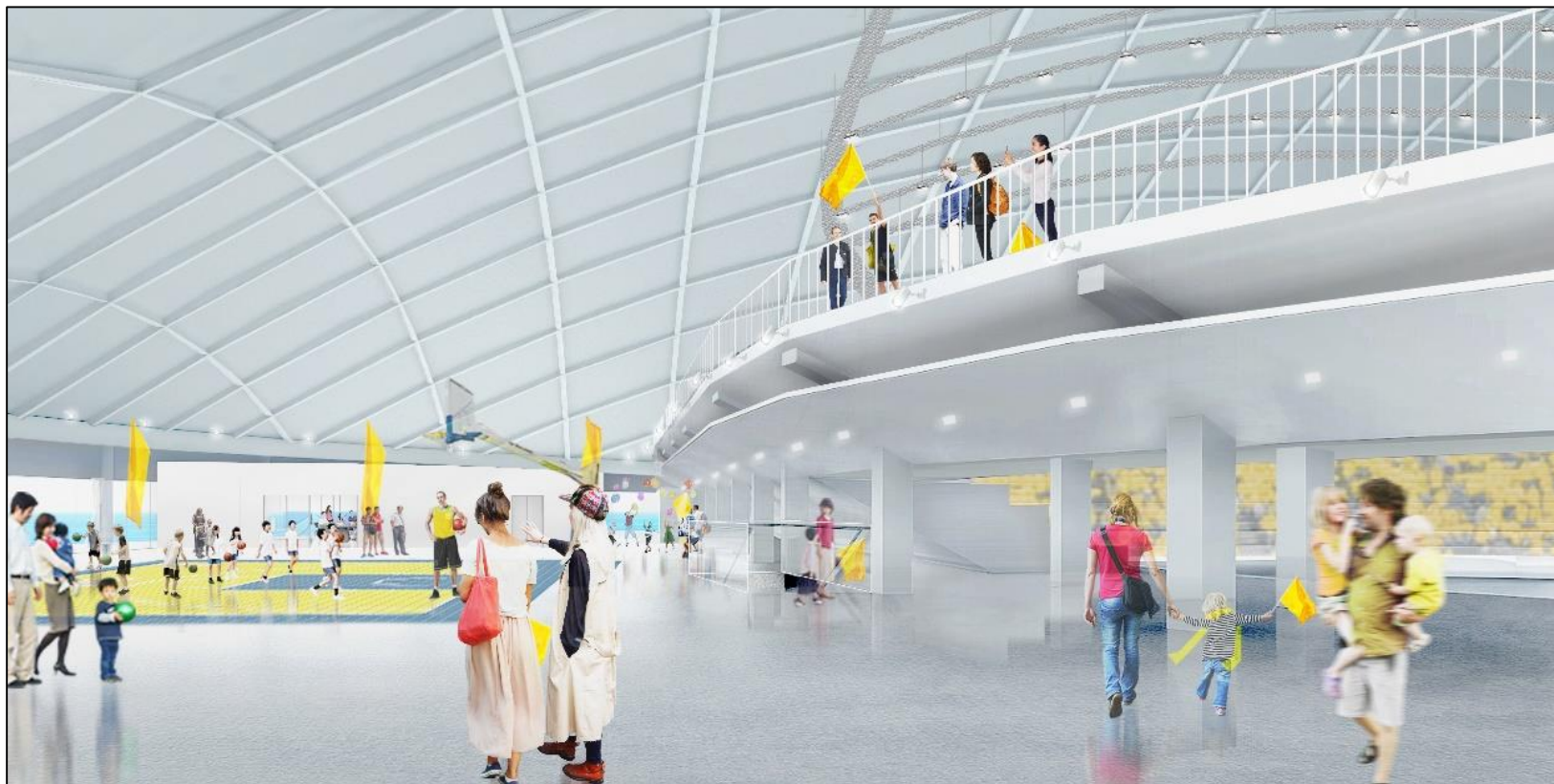
- 様々な用途に利用できる**多目的アリーナ**
- 最大収容人数は**中四国最大級**の約1万人
- サンポートの環境に調和**した、利用しやすい施設



※かがわ国際会議場からの景観

1. 新県立体育館の特徴

○交流エリアを設けた**新しい発想のアリーナ**



- 観客席上部に壁を設けないことにより、アリーナ面と一体感を確保
- イベント時にはロビー・通路として利用でき、イベントに関連する催しや物販等の利用も想定
- イベントが開催されない際にも、県民がつどえる場所

1. 新県立体育館の特徴

機能の充実

～ 機能性や収益性を重視したアリーナ機能の充実（メインアリーナ）～

- コンクリート床とし、大型トラックの通行が可能
- コンサートを想定した、天井高、天井荷重を確保、ステージ設営がしやすいようキャットウォークを配置
- MICE利用を想定し、アリーナ床面や壁面にインフラ設備（電源等）を設置

利用しやすさ

～ 利用者にとって利用しやすい施設～

- イベント規模に応じて、メインアリーナ、サブアリーナ等の単独利用、一体利用が可能
- 観客とイベント主催者、選手、出演者等の動線を分離
- 車いす対応のエレベーターを複数配置
- メインアリーナ内には車いす席を28席確保。通路幅もスムーズな通行ができるよう3m確保
- 多目的トイレ、キッズルーム、授乳室を設置

周辺への配慮

～ 周辺環境への配慮～

- サンポート高松を訪れた人々が気軽に立ち寄れる、開かれた公共空間
- 建物の高さを低く抑え、サンポートの景観に調和
- 騒音対策については、環境基準内に抑えることはもちろん、住宅が隣接した西側については、より厳しい住宅地の基準を充足

2. 各施設概要



(1) メインアリーナ

○全国大会や国際大会など**大規模なスポーツ競技大会の開催**が可能



○ 対象種目

バレーボール 4面
バスケットボール 3面
ハンドボール 2面

※その他、室内で実施される主要な競技に対応

○ **固定席** 5, 0 2 4 席
(最大収容人数 10,000人)

2. 各施設概要



(1) メインアリーナ

○トップアーティストによる**コンサートアリーナツアー**、**MICE**などに利用可能



2. 各施設概要



(1) メインアリーナ

○各イベントレイアウト例

コンサート (エンドステージ)



収容人数 約 7,300人

プロスポーツ (バスケットボール)



収容人数 約 8,700人

ボクシング



収容人数 約 10,000人

2. 各施設概要

(2) サブアリーナ

○県大会など**中規模なスポーツ競技大会、日常のスポーツ活動の場**として利用

○公式競技が開催できる**天井高、照度を確保**

○ 対象種目

バレーボール 2面
バスケットボール 2面
ハンドボール 1面

○ 固定席 1, 032席

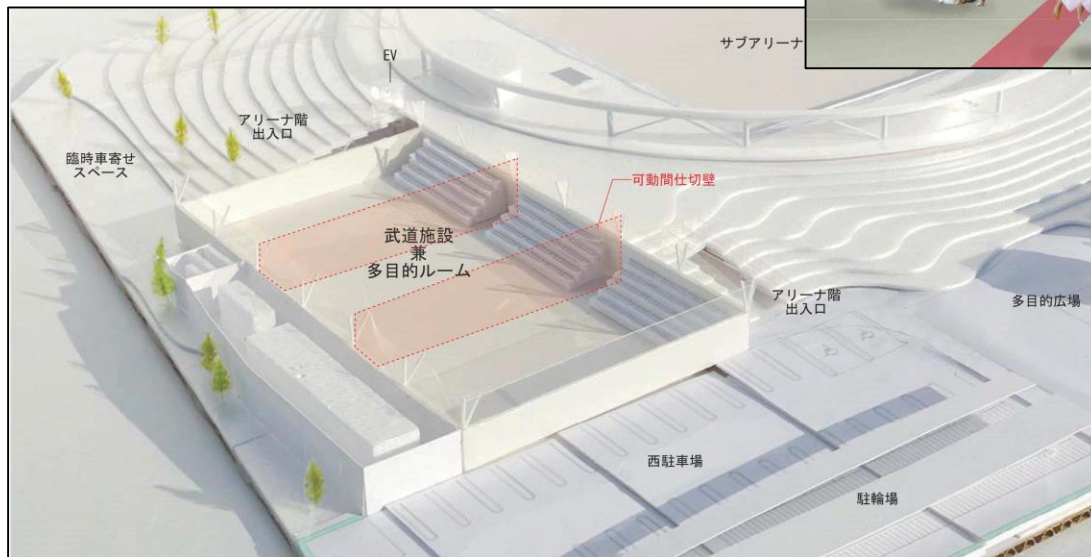


2. 各施設概要

(3) 武道施設兼多目的ルーム

- **柔道、剣道等の大会の開催、**
少人数でのスポーツ活動や**文化活動**で利用可能

- **対象種目**
柔道（または剣道）3面
- **固定席** 315席



4. 建築概要



| | | |
|-------|---------------------|-----------|
| 規模 | 地上2階、地下1階 | |
| 建築面積 | 20,461㎡ | |
| 延床面積 | 30,019㎡（東駐車場含む） | |
| 構造形式 | 鉄骨造、鉄筋コンクリート造／杭基礎 | |
| 施設構成 | メインアリーナ | 固定席5,024席 |
| | サブアリーナ | 固定席1,032席 |
| | 武道施設兼多目的ルーム | 固定席315席 |
| 駐車場 | 一般車 | 100台 |
| | 車椅子利用者等 | 4台 他 |
| 駐輪場 | 自転車・自動二輪車 | 525台・11台 |
| 建設工事 | 令和3年度～令和5年度（工期32ヵ月） | |
| 建設工事費 | 18,186百万円（税込み） | |